

case

## 農芸化学

県北保健福祉事務所  
生活衛生部 衛生推進課

(平成27年度採用)

### わたしを表すキーワード

keyword 01

#### #気づけば見ている食品表示

旅行や外出先で買い物する際、ふと気づけば食品表示ラベルの内容ばかりを見ており、家族には職業病と言われてています。

keyword 02

#### #福島県って広い！

転勤を通じて浜・中・会津全ての地方に住み、福島県の面積だけでなく、食文化や祭礼等の文化の幅広さを感じて大変興味深いです。

keyword 03

keyword 04

#### #好奇心旺盛 #食べることが好き

keyword 05

#### #コミュニケーション

私は

『シヨク』を楽しむこと  
(食、職)

が好き！



### 略歴

H27～H30	県北保健福祉事務所	生活衛生部	衛生推進課
H31～R3	南会津保健福祉事務所	生活衛生部	衛生推進課
R4～現在	県北保健福祉事務所	生活衛生部	衛生推進課

## 「未来」の食の安全を支える

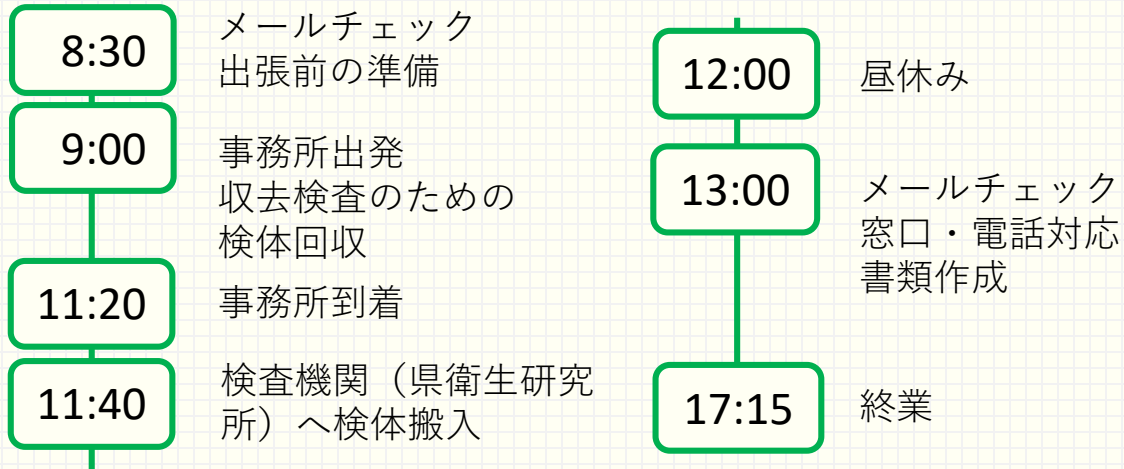
食品衛生チームでは飲食店や食品製造施設等の許認可や衛生指導、市場に流通する食品の収去検査（抜き取り検査）など食品衛生に関わる業務を担当しています。入庁前に想像していた以上に幅広い業務に取り組む中で、身につけた知識や得た経験が多くあり、中には地道な業務もありますが、少しずつ積み重ねてきたことが先々の業務や県民の方々の生活に役立っていることを実感したときにやりがいを感じます。

## 県職員を目指した理由

「食」に対する興味関心から学生時代は食品関係の研究室に所属しており、学んだことを活かしつつ、自分や家族が生まれ育った福島県の力になるための仕事をしたいと思い、福島県職員を志望しました。

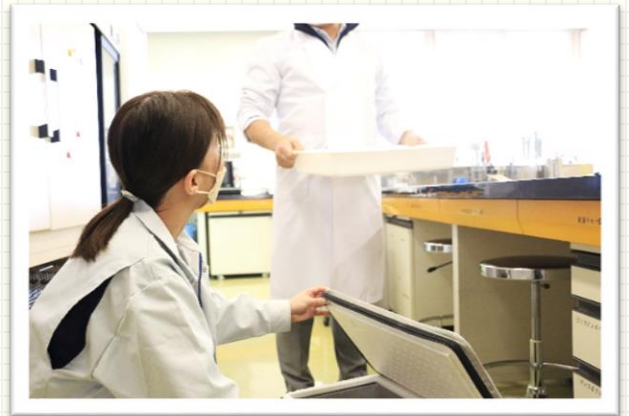


## とある一日のスケジュール



## 印象に残っている経験・エピソード

食品製造の営業許可を初めて取得するという方が事前相談のため、緊張した様子で来所されました。丁寧にわかりやすい説明を心がけ続け、最後には相談者から「保健所が怖い場所ではなく、親切に必要なことを教えてくれる場所だとわかった」と感謝されたことがあります。食品関係事業者の方々と良い関係を築き、今後も連携して福島県の食の安全を守っていきたいと思いました。



↑検査機関へ検体を搬入

## 福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



↑「ふくしまHACCP」は食中毒や異物混入、放射性物質などのリスクに対応した県独自の衛生管理手法で、導入支援ツール（アプリ）や研修会を通じて普及を進めています。

私たちの「食」をとりまく環境は変化しており、特に令和3年の食品衛生法改正は食品関係事業者や私たちの食品衛生業務に大きな影響と変化をもたらしました。そうした変化に柔軟に対応し、新しい考えも取り入れつつ行政機関としてなすべきことを判断し、食品関係事業者や県民の方々の目線も忘れずに、これからの福島県の食の安全の確保や食の安心の実現に向けて日々の業務に取り組んでいきたいです。

（令和5年3月現在）